

研究タイトル:

英国・北欧・スペインの学校における ICT 教育環境



氏名: 下倉 玲子 / Reiko SHIMOKURA E-mail: shimokura@kure-nct.ac.jp

職名: 准教授 学位: 博士(工学)

所属学会・協会: 日本建築学会, 日本建築学会中国支部計画系委員会

キーワード: 学校建築, ICT, 学習環境

技術相談
提供可能技術: ・小中学校におけるオープンスペースなど教室周りの計画
・幼稚園、小中高等学校におけるICTを活用した学習環境
・英国などの海外事例の紹介

研究内容:

現在、学校におけるICT(情報通信技術:Information and Communication Technology)の利用は、活発化している。教育におけるICT機器とは、電子黒板、デスクトップパソコン、ノートパソコン、iPad などのタブレット型PC、ビデオカメラ、デジタルカメラ、PCと連動した音楽制作用キーボード等を示す。特に、イギリスは学校ICT化の波が早くからあり、幼稚園から高等学校に至るまで、ほぼ全教室に電子黒板が設置され、コンピューターをはじめとするICTツールで授業を行うことが一般化している。カリキュラムでもICT教育があり、児童・生徒たちは、デジタルネイティブとしてICTツールを使いこなしている。2012 年度は、イギリスのシェフィールド大学の客員教員として、イギリス、スペイン、北欧(スウェーデン、フィンランド)の現地調査を行った。その内容を以下に示す。

授業での指導ツールは電子黒板で、それを補完する形でホワイトボードを利用する。電子黒板の多くは、プロジェクション型だが、プラズマ型(テレビのようにみえる)を利用する学校もある。子どもが利用するパソコンとしては、就学前児童や小学生低学年では iPad、小学生高学年や中学・高校生はノートパソコンを利用している。特に中学生以上からは、ノートパソコンを自己所有している場合が多く、多くの課題がパソコンによってなされる。

幼稚園や小学校の教室には、写真1にあるように電子黒板の前にカーペットが敷かれていることが多々あり、子どもたちが床に座り集まり教師による導入の指導や発表学習に利用されている様子がうかがえる。

ノートパソコンをそれぞれの生徒が持ち込む中学校では、充電や盗難の問題がある。充電もできる個人用ロッカーを設ける学校、持続時間が長い iPad を利用することし盗難に関しては監視カメラでカバーしている学校など色々ある。



写真1 iPadを使った授業風景



写真2 ノートパソコンを使う中学生

学校ICT化の波は、やっと日本にも訪れた。今後健全な電子機器の利用のため、空間計画としてできることを今後も研究していきたい。

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	
特になし	